

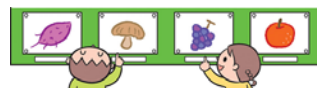


多可町子育てふれあいセンター

2018年

にこにこ通信

10月



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来てくださいね。



自由利用について

月～金曜・土（月2回） 午前9時～午後3時

★自由に遊び来てくださいね。



活動あれこれ



いきいき広場「川あそび」9月3日



親子あそび「お月見あそび」9月11日

加美区市原の方とお団子づくりや交流あそびをしました。
季節のあそびを楽しみながら、いっぱいふれあいました。



学習会「食育教室」9月20日



いずみ会の方15名と親子9組、
5班に分かれて教えて頂きました。
栄養満点おいしい料理が出来ました。



- ・豚肉と小松菜の
まぜご飯
- ・にんじんと
りんごのサラダ
- ・ジュリアンスープ

いきいき広場・親子あそび……パパの参加
もありました。 家族参加、大歓迎 !!

赤ちゃん広場 9月25日



家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを
取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあら
ゆる相談があれば、お気軽にご連絡くださいね。

こども未来課 教育委員会 電話 32-2385



子育ての不安や悩みなど、
気軽に相談くださいね。
遊びの時でもOKです。
…面談希望の方は、申し込みを…



☆多可町子育てふれあいセンター <Email>kosodate@town.taka.lg.jp

〒677-0114 多可町八千代区仕出原 353

<TEL/FAX> (0795) 37-2525



☆親子あそび…誰でも参加できます。申込不要

と き : 10月5日(金) 10:00~11:30

ところ : 中児童館集合~近くの畑

内 容 : 「さつまいも掘り」

*収穫の喜びを一緒に体験しましょう。

持ち物 : お茶、軍手、スコップ、持ち帰り用袋

【雨天時】アスパルであそびます。

☆学習会 …申込必要

(図書館連携事業)

と き : 10月18日(木) 10:00~11:30

ところ : 多可町図書館

内 容 : 読み聞かせ講座

「子どもと楽しむ絵本の世界」

*詳細は、チラシをご覧ください。

☆いきいき広場…申込不要

「公園で遊ぼう！」

と き : 10月30日(火) 10:00~11:30

ところ : 余暇村公園

*職員が見守る中、お子さんと自由に遊びましょう。

【雨天時】旧中町幼稚園であそびます。

赤ちゃん広場

と き : 10月22日(月)

申込不要

ところ : 子育てふれあいセンター

10:00~10:30 身体測定

10:30~11:00 スキンシップあそび

情報交換

11:00~ フリートーク

*誰でも参加できます。気軽にお越しくださいね。

☆パパとあそぼう!…申込必要

「アウトドアを楽しもう！」

と き : 10月28日(日) 10:00~13:00

ところ : 子育てふれあいセンター

「パパ出番ですよ~!!」

*詳細については、チラシをご覧ください。



「親子クリスマス会」のお母さん委員募集!!



授業協力のおねがい



中学校「育児体験授業」

●加美中学校

申込み必要

と き : 10月2日(火) 9:40~11:30

持ち物 : お茶、母子手帳、エコー写真(可能な方)
子ども用エプロン・三角巾(あれば)

●中町中学校

と き : 10月16日(火)・17日(水)・23日(火)

9:40~11:30

持ち物 : お茶、母子手帳、エコー写真(可能な方)

内 容 : 中学生からお母さんに質問

ふれあい体験

・幼児のおやつを試食

(*加美中学校はいっしょに調理をします。)

・オムツ交換 ・抱っこ体験 ・授乳体験

・ふれあいあそび

小学校「命の授業」

●八千代小学校

申込み必要

と き : 10月4日(木) 10:15~11:30

●杉原谷小学校

と き : 10月25日(木) 10:15~11:30

内 容 : 小学生からお母さんに質問

ふれあい体験

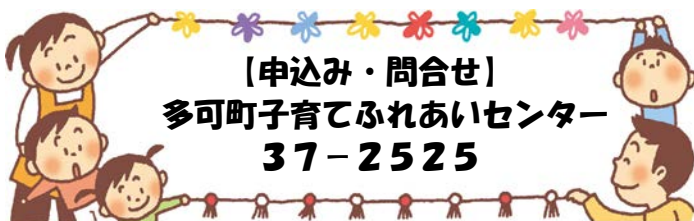
・抱っこ体験 ・ふれあいあそび

持ち物 : 母子手帳、エコー写真(可能な方)

【申込み・問合せ】

多可町子育てふれあいセンター

37-2525



子どもは真似して大きくなる

子どもは、周りのすべてを吸収して真似します。

0～7歳頃までが、いちばん模倣の衝動が強いと考えます。この時期は、まわりの大人の習慣や動作だけでなく、価値観やひととの付き合い方まで、善し悪しの判断なく模倣します。それが、体深くに染み込み、7歳以降、学校で学んだり、友だちとかかわったりするときのベースになります。だからこそ、乳幼児期にはその子ができるだけよいものをたくさん模倣できるように、大人のあり方を意識してきたいものです。

子どもが、ことばを覚えていく頃には

意識的に話す

- ・はっきりわかりやすく話す
- ・ゆっくりと話す
- ・相手に意識を集中しながら話す

幼児がことばを話し出す前にやっているのは、周囲が話すことを「聞く」こと。ですから、この時期は、子どもが聞き取りやすいように、ゆっくりとわかりやすく話すことが、子どもがことばを自由に扱えるようになるための手助けになります。また、忙しいときなどは、つい心ここにあらずのまま、子どもと話をしてしまいがちです。子どもがことばを丁寧に使えるようになるためにも、大事なことを伝えるときほど、目の前の相手に意識を集中し、大切なものを届けるイメージを持ちながら話しましょう。

子どもが、社会のルールを学び始める頃には

感謝の気持ちをことばにして伝える

- ・「ごめんなさい」より「ありがとう」を
- ・ちいさなことで、タイミングを逃さない

ついつい大人は、子どもに「ありがとうって言いなさい」とか「あいさつしなさい」などと押しつけがち。でも、大人が感謝の気持ちを伝えたり、挨拶をしている場面を見て育つと、自然と「こんにちは」「ありがとう」と言えるようになる 때가 来ます。まずは大人自身がタイミングを逃さず、周囲に対して感謝の気持ちを伝えるようにしていきたいものです。

子どもに落ち着きをもってほしいときには

大人が率先して静かな時間を持つ

- ・暮らしのなかに芸術や手仕事の時間を
- ・スマートフォンやパソコンをさわらない時間を作る

機嫌が悪いひとや、ピリピリした人の近くにいると、大人でも疲れるもの。大人の心が安定していることは、そのまま子どもの落ち着きにつながります。また、現代はSNSやスマートフォンなど、常にメディアからあふれる情報にふれています。そんな中では意識して心の静けさを作り出すことがとても大切です。テレビを消し、音楽を止め、静かな気持ちで手仕事をしてみては？大人が落ち着いて目の前の物事に向き合うことが、子ども自身の落ち着きにもつながるでしょう。